

にじいろ



地方独立行政法人 茨城県西部医療機構

茨城県西部メディカルセンター

Ibaraki Western Medical Center



病院理念

地域の中核病院として患者中心の良質な医療を提供します。



基本方針

1. 地域医療のコントロールタワーとして保健・医療・福祉の連携を推進します。
2. 地域の住民や医療機関に開かれた医療施設とします。
3. 安全で心のかもった最善の医療を提供します。
4. 地域災害拠点病院として災害に備えます。
5. 健全で効率的な病院の運営・経営を行います。
6. 知識・技能向上のため研修に積極的に取り組みます。
7. 職員は相互の理解と敬意に基づき組織の融和に努めます。

目次

病院活動報告	2
クリニカルパスについて	3
DPC導入について	4
ステイホーム中のリハビリ紹介	4
地域医療連携室より	5
筑西診療所より	5

病院活動報告

医療安全対策部

● 感染対策

2019年12月に中国の武漢市において新型コロナウイルス感染症が大きな流行となり、瞬く間に全世界に広がっていきました。世界保健機関（WHO）は公衆衛生上の緊急事態を2020年1月30日に宣言し、日本においても2月1日に感染症法上の指定感染症に指定されました。当院においても新型コロナウイルス感染症対策を強化し、職員が一丸となり院内感染対策に取り組んでいる状況です。

感染流行の第1波、第2波を乗り越え、今冬は季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されています。こうした状況を見据えた感染対策を早期より実施し、院内感染及び感染拡大防止へと繋げていくことが必要と考えています。

当院では院内に感染症を持ち込ませない対策として、病院入口で検温とトリアージを実施し、発熱外来を設置しています。また、全職員の感染対策強化

医療安全対策部 感染対策室 海老澤 裕美

として、出勤時の検温や健康管理、マスクの常時着用と手指衛生を徹底し、さらに个人防护具の着脱訓練を実施しています。来院される地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解、ご協力をお願い致します。地域の中核病院として感染対策においても地域の皆様に貢献できるよう今後も努力してまいります。



介護科

● 介護科が新設されました

2010年以降、看護職員が専門性を発揮できるように介護福祉士をはじめとする看護補助者の配置及び機能分担が進められ、入院病棟を備える病院に対して看護補助者の増員が促されています。このような背景から、多くの病院において看護補助者の活用のため、看護職員との業務分担や連携の仕組みについて検討整備がなされています。



このたび、病棟ごとに配置されていた介護福祉士・ヘルパーを、介護科というひとつの組織単位に再構成することとなりました。介護福祉士・ヘルパーは身体介護のプロであり、組織化することで介護の専門職として新たな責任を持ち、介護

介護科 科長補佐 宮本 尊生



の質の向上が重要な使命となります。介護科として独自の指揮命令システムを構築することで、迅速な連絡・調整が可能となり、看護職員をはじめとする他職種との連携強化が期待され、患者さんのクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上に大きく貢献ができるものと考えております。

クリニカルパスでより良い医療の提供を目指します

クリニカルパス委員会 外科 医長 中山 健

クリニカルパス（以下パス）は、1980年代のアメリカを発祥とし、医療の標準化と効率化および結果（アウトカム）の向上を目的として考案された医療システムのひとつです。日本では1990年代からパスの概念が浸透し、多くの医療機関で標準的な治療を提供するために使用されています。

私は外科医として、ヘルニア（脱腸）や胆石など良性疾患の予定手術、虫垂炎などの緊急手術、胃癌や大腸癌など悪性疾患の手術と抗癌剤治療に関わっております。それぞれの疾患や手術によって薬剤や処置の種類、術後検査などは異なるため、これらの医療行為をいつどのように提供するかを検討し、他の医療スタッフと連携して治療にあたります。

パスの概念が導入される以前は、同じ手術を受ける場合でも点滴の種類や量、投与時期などが統一されておらず、患者さんごとにバラバラでした。その結果、医師の指示の伝達や確認が煩雑となり、投薬間違いなどの医療過誤が生じる恐れや入院期間がばらつく恐れがありました。患者さんにとっても、いつどんな検査を受けるのか、いつ頃退院できるのか

がわからず、不安な気持ちになっていたと考えられます。パスでは、同じ疾患・手術では、入院から退院まで統一した治療計画に基づく医療を提供し、患者さんにも一覧表を用いて説明を行います。その結果、入院期間の短縮、医療費の削減、合併症の低減、患者満足度の向上など、医療の質の改善に多く寄与することがわかっています。

クリニカルパス委員会では、各診療科のパス作成支援、パスの審査・承認や運用状況の把握・改定などに関わっております。現在、外科系（眼科、整形外科、耳鼻科など）だけでなく内科や小児科も含め30以上のパスを運用しており、医療の質の担保、業務の効率化を図ることにより、患者さんにより良い医療を提供できるよう努めております。今後、開業医の先生や患者さんに当院のパスをわかりやすい形で開示し、ご紹介や受診の敷居を低くする取り組みを行いたいと考えております。パスに関するご意見やご質問がありましたら広報を通してお教えいただけましたら幸いです。

様 腹腔鏡下胆嚢摘出術クリニカルパス説明書

入院から退院までのご案内
 腹腔鏡下胆嚢摘出術を受ける患者さんへ当院では下記のプランに基づいて診療を進めています。
 患者さんと医療スタッフが共に理解・協力することで、診療効果を上げ、早期退院を目指しましょう。

病棟： _____

経過	外来	入院日	手術日（術前）	手術日（術後）	術後1日目（退院日）	術後2-5日目（退院日）	初回外来まで
日付	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
ご家族の方へ	<input type="checkbox"/> 外来または入院時に手術・輸血・麻酔の説明を行います		<input type="checkbox"/> 手術中はご家族の待機が必要です。指定された時間までに病棟にいらしてください	<input type="checkbox"/> 手術終了後に医師から手術結果の説明があります。術後の検温が終わったら看護師が声をかけますので、家族控室、又はラウンジでお待ちください			<input type="checkbox"/> 1か月程度は重い物を持ち、激しい運動など、腹圧のかかる生活は控えてください
検査	<input type="checkbox"/> 血液・尿検査、レントゲン、心電図、肺機能検査、CTおよびMRI、内視鏡検査（上部・下部）（基礎疾患により心臓超音波検査）※検査内容は患者様の基礎疾患や検診歴により異なる場合があります	<input type="checkbox"/> 身長・体重測定			<input type="checkbox"/> 血液検査、レントゲンを行います	<input type="checkbox"/> 術後経過により、採血・レントゲン検査を行います	痛み、創部、検温、食事量、検査結果などにより退院を決定します
処置	<input type="checkbox"/> 弾性ストッキングのサイズを測ります	<input type="checkbox"/> 顔処置（おへそ）を行います	<input type="checkbox"/> 洗脚を行います <input type="checkbox"/> 手術着に着替えて、弾性ストッキングをはきます	<input type="checkbox"/> 酸素、心電図モニターをつけます。場合によっては血液循環を良くするため足にマッサージ器をつけることがあります			
安静度	<input type="checkbox"/> 行動の制限ありません	<input type="checkbox"/> 行動の制限はありません	<input type="checkbox"/> 手術室まで看護師が案内します	<input type="checkbox"/> 手術終了後3時間経過したら、歩行可能となります。初回歩行は看護師が付き添います	<input type="checkbox"/> 痛みがあると思いますが早期回復のためできるだけ歩きましょう。歩行ができれば病棟内は自由です		
排泄		<input type="checkbox"/> 病棟トイレ	<input type="checkbox"/> 出機前にトイレを済ませてください	<input type="checkbox"/> 安静の指示が解除されるまでは膀胱留置カテーテルを使用します	<input type="checkbox"/> 術後経過によりカテーテルを抜き、トイレにて排泄が可能になります		
清潔		<input type="checkbox"/> 入浴可	<input type="checkbox"/> 朝の洗面は自由です。歯磨きをしてください	<input type="checkbox"/> 洗面は自由です。入浴はできません	<input type="checkbox"/> 朝の回診時に創の状態を確認し、シャワーが可能になります		<input type="checkbox"/> 初回外来日まではシャワーでお過ごし下さい
食事・栄養		<input type="checkbox"/> 食事は夕食までとれます 21時以降は水・お茶のみ可能です	<input type="checkbox"/> 食事はできません。必要なお薬のみ少量の水で7時までに内服し、その後は水分はとれません	<input type="checkbox"/> 絶飲食となります	<input type="checkbox"/> 医師の診察後飲水・内服が可能となります。昼食から食事開始となります		<input type="checkbox"/> 脂肪分を控えた食事を心がけてください
検温		<input type="checkbox"/> 入院時 PM：17時	<input type="checkbox"/> AM：6時、出機前	<input type="checkbox"/> 常室時、1・2・4時間後、消灯前	<input type="checkbox"/> AM：6時、11時 PM：17時		
観察				<input type="checkbox"/> 痛み、吐き気、創部の違和感がある場合は看護師へお伝えください			
注射・点滴			<input type="checkbox"/> 朝から点滴が始まります	<input type="checkbox"/> 痛み止めや抗生薬、補液投与を点滴で行います			<input type="checkbox"/> 食事がある程度摂れるようになれば点滴終了となります
内服薬	<input type="checkbox"/> 普段飲んでいる薬を確認し、血液サラサラのお薬など休止の必要があるお薬の休薬開始日をお伝えします	<input type="checkbox"/> いつも飲んでる薬は忘れずにお薬手帳と一緒にお待ちください。医師・薬剤師が確認し継続する薬を選定します。下剤や胃薬を内服していただく場合があります	<input type="checkbox"/> 朝の内服薬は、医師の指示のもと内服になりますので、看護師の指示に従ってください		<input type="checkbox"/> 回診後よりいつも飲んでる薬および定時の痛み止めを内服して頂きます。血液サラサラの薬や糖尿病の薬の再開時は医師が判断します		

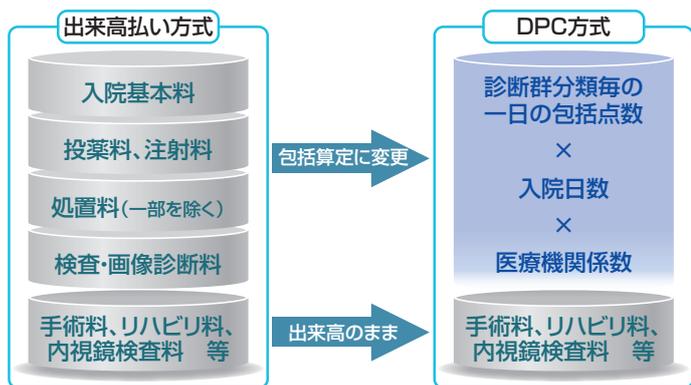
※ 状態により、予定が異なることもございます。わからないことがありましたらいつでもお聞きください。
 ※ 入院の際は、この用紙を持参してください。

2020（令和2年）4月1日よりDPC制度導入により入院料の算出方法が変更されました。

■DPC制度とは

DPCとは、Diagnosis Procedure Combination（診断・行為・組合せ）の略で、厚生労働省によって、医療の質の標準化を図ることを目的として全国の急性期病院を中心に導入が進められている制度です。この制度下での入院医療費の計算は、従来の医療行為ごとに計算する『出来高』方式とは異なり、疾患や診療内容（診断群分類区分）によって決められた1日あたりの定額料金を基に医療費を計算する『包括払い』方式です。

単なる入院医療費の計算方法の変更が目的ではなく、良質で効率的な医療や医療の透明化を図るために導入するものです。



■入院される患者さんへのお願い

1. 入院時にお薬を服用中の方は、当院で処方されたものに限らず、全てのお薬を持参して下さい。
2. 原則として、当院入院中に他院での診療や投薬を受けることは出来ません。他院での検査データ、レントゲンフィルム等がありましたらご持参下さい。
3. 入院中に、今回の入院と関連のない他の診療科の受診を希望された場合、主治医の判断（緊急性など）により、退院後の外来受診をお願いすることがあります。
4. 入院中に別の病気が発見された場合、主治医の判断（緊急性など）により、一旦退院後、改めて入院していただくことがあります。
5. 入院後、病気や治療の内容によって請求額が変動し、差額が発生する場合があります。この場合、退院時に前月までの支払額との調整を行います。
 - ・食事の代金や個室代は、これまでどおり負担していただくことになります。
 - ・公費や高額療養費の取り扱いは、従来通り変わりません

なお、ご不明なことがありましたら、医事入院課までお問い合わせ下さい。DPC制度へのご理解とご協力をお願い致します。



リハビリテーション技術科

ステイホーム中の運動 ～こんな時こそ家中運動で疲れを取りましょう～

リハビリテーション技術科 佐藤 莉沙

今年はステイホームが叫ばれ、例年と異なる生活が続いています。慣れない生活が続くと不安や疲労が蓄積されます。散歩や外出で体を動かして発散したい！でも、不安で家に居る事が多くなってしまおう…しかし、こんな時代を逆手にとって、**今だからできる運動習慣**を身につけてみませんか？！

適度に足を動かす事は、エコノミークラス症候群の予防にもなります。テレビのCMや就寝前、テレワークの合間に無理なく続けて下さい。何気ない時間に体を動かす習慣をつける事が健康維持に大切です。“**こんな時代だからこそできる運動**”を合言葉に一緒に乗り切りましょう！

◆おススメする運動を紹介します◆

◎座ってする運動

足踏みしながら（リズム良く足を動かします）

- ①腕をあげて耳の横につけてグーパー
- ②腕を大の字（左右）に拡げてグーパー

呼吸を止めず、リラックスしながら行って下さい
回数は5～10回



地域医療連携室より

地域医療連携部 副部長 **仁平 透**

前は、MSWと呼ばれる医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の業務について説明させていただきましたが、今回は、そのソーシャルワーカーの「ある1日」をご紹介します。

- 08:15 出勤・・・制服に着替えて、仕事の準備。
 08:30 ミーティング 他院からの受診予約など連携業務を行うスタッフと1日のスケジュールを確認。
 09:00 面談・・・患者さんやご家族から、入院治療に伴う生活上の心配事（介護など退院後の生活のことや今後の療養先、入院費用等）について、詳細まで丁寧に聞き取り、対応。
 12:00 休憩
 13:00 面談・・・病棟で入院患者さんと面談します。入院中や退院後の生活に不安を抱えている方も多いため、さまざまな社会資源を活用し、入院中～退院後の生活まで、本人とご家族の

- ご意向を確認しながら支援。
 16:00 各科カンファレンスへの参加
 各診療科の医師や看護師、リハビリスタッフ、栄養科スタッフたちとカンファレンスを通して、情報共有を図る。
 17:00 データ入力・・・1日の相談記録などをまとめ、翌日の準備。
 17:15 退勤 時間外に面談が入り、残業をする日も。

ソーシャルワーカーの標準的な一日をご紹介しますが、患者さんのいろいろなご要望に応えられるよう、日々の勉強も欠かしません。これからも「生活と心」を支える社会福祉のプロとして、患者さんをサポートいたします。

そして、今年5月に新しい仲間（医療ソーシャルワーカー）が増えました。名前は外山 弥沙（トヤマ ミサ）です。現在6名体制で患者さんの入退院時や各種ご相談に関わっておりますので、お会いした際にはよろしくお願ひいたします。



筑西診療所より

『たまど』通信第4号 ～コロナ禍時代の『かかりつけ医』を目指して

筑西診療所 所長 **佐々木将人**

ご承知のように2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症が全国に蔓延しました。筑西診療所では、「発熱/風邪症状」の患者さんに対して、平常時とは異なる対応をしています。まず、入り口で職員が検温や簡単な症状のチェックを行います。「発熱/風邪症状」の方は、診療所の中ではなく、車の中で待機して頂きます。担当医は携帯電話で詳細な問診を行い、個人防護具を装着して駐車場で診察します。肺炎が疑われる場合は、西部メディカルセンターに対応をお願いします。また濃厚接触者やPCR検査が必要と思われる方は、真壁医師会PCR検査センターや保健所を紹介します。大変ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

コロナ禍時代、地域の『かかりつけ医』の重要性が強調されています。筑西診療所は、2020年8月より国から『地域包括診療料』の算定が認可されました。そのためには、別表に掲げる役割をもれなく果たす必要があります。該当する患者さんは、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、認知症のうち、2つ以上の病気を持っている方です。

該当する患者さんには、月に1回に限り、通常よりかなり高額な診療報酬を負担していただきます。しかし、血液検査や尿検査などの検体検査、心電図やX線検査、超音波検査などはすべてこの料金の中に含まれます。風邪、湿疹、結膜炎、捻挫など、予約外の同月

受診の場合、医療費はかかりません。症状が安定している患者さんの場合、待合室の『3密』を避けるために2ヶ月以上の長期処方にも対応しやすくなります。『かかりつけ』の患者さんからは、24時間365日、診療所に連絡をとることができます。病院受診が必要な場合は、当直医に電話連絡し確実に受診できるよう手配します。同時に診療情報提供書（紹介状）もFAXいたします。

筑西診療所は今年10月より、開業3年目、総仕上げの年に入ります。皆さまの身近な『かかりつけ医』として、筑西診療所を賢く上手に利用していただきますよう切にお願いします。

別表. 『かかりつけ医』が果たすべき役割

- 生活習慣病や認知症の治療や管理に対応
- 他の医療機関も含め薬剤をすべて把握した上で、飲み合わせをチェックし、ポリファーマシーの弊害に対応
- 予防接種や健康診断など、健康管理に関するご相談に対応
- 専門的な診断や治療が必要な場合は、適切な医療機関や専門医への紹介
- 介護保険利用の案内や必要な書類作成
- 通所困難な場合、訪問診療や往診の実施
- 24時間365日体制で、体調不良など患者さんからの電話相談に対応

救急外来・夜間受付・面会時間

救急外来・夜間受付

ご来院の前に以下をお電話でご連絡下さい。

- 患者さんの氏名・生年月日・住所
(当院の診察券をお持ちの方は診察券記載の番号をご連絡下さい)
- 患者さんの様子
ケガの方は
 - いつどのようにしてケガをしたのか
 - ケガの場所
 - ケガの程度
(キズの大きさ、深さ、痛みの程度、出血の有無)
 病気の方は
 - 現在の症状
(体温、苦痛の程度や場所、下痢やおう吐の有無など)
 - かかりつけ医の有無
 - 既往歴
(慢性的な持病や過去に罹った大病、入院歴、手術歴など)

連絡先

茨城県西部メディカルセンター 0296-24-9111 (代表)

お持ちいただくもの

- 診察券 (お持ちの方)
- 医療受給証 (お持ちの方)
- 健康保険証
- お薬手帳
- 紹介状 (お持ちの方)

上記は、新型コロナウイルス感染症対策のため変更される場合がありますので、公式ホームページにてご確認くださいませようお願い致します。

救急外来の場所

時間外入口を
入って右側の
夜間休日受付で
受付をして下さい。



※時間外入口は、
病院北側にあります。

面会時間

- 2020年10月現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、面会は全ての患者さんにおいて原則禁止とさせていただきます。(入院患者さんの状態によって医師の許可がある場合は、この限りではありません。)
- 詳細は病院ホームページをご確認いただきますようお願い致します。



地方独立行政法人 茨城県西部医療機構

茨城県西部メディカルセンター

Ibaraki Western Medical Center

〒308-0813 茨城県筑西市大塚 555 番地
TEL : 0296-24-9111 (代表)
FAX : 0296-24-9171
予約センター : 0296-24-9172 (月曜～金曜 9:00～16:00)
HP : <http://www.iwmo.or.jp/>



■診療科 内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、小児外科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、救急科、麻酔科 (水谷太郎)

■受付時間 初診 月曜～金曜 8:30～11:00
再診 月曜～金曜 8:00～16:30

■診療時間 9:00～17:00

■休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

■交通案内

・電車をご利用の場合

JR宇都宮線小山駅乗り換え、
JR水戸線下館駅下車
下館駅北口より広域連携バス・
地域内運行バスにて10分
(電車所要時間、小山駅から6駅25分)

JR常磐線友部駅乗り換え、
JR水戸線新治駅より車で9分
(電車所要時間、友部駅から8駅33分)

・車をご利用の場合

北関東自動車道
桜川筑西ICより17分、真岡ICより33分



地方独立行政法人 茨城県西部医療機構

筑西診療所

Chikusei Clinic

〒308-0847 茨城県筑西市玉戸 1658 番地
TEL : 0296-28-2261 (代表)
FAX : 0296-28-4471
HP : <http://www.iwmo.or.jp/page/dir000008.html>

■診療科 内科

■外来診療日 月曜日～金曜日 9:00～12:00
(受付は8:30～11:00)

■訪問診療日 月曜日～金曜日 8:30～17:15

■休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

■交通案内

・電車をご利用の場合

JR宇都宮線小山駅乗り換え、
JR水戸線玉戸駅下車
徒歩3分
(電車所要時間、
小山駅から5駅18分)

・車をご利用の場合

国道50号線
「玉戸駅入口」信号から
北へ約100m



茨城県西部医療機構の職員(正規・非正規職員)募集中

病院ホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

■問い合わせ 事務部人事課 TEL : 0296-24-9111 HP : <http://www.iwmo.or.jp/>

